

地域医療連携室

1. 地域医療連携室

《体制》

事務職：男性 1 名、女性 6 名（常勤 1 名、非常勤 1 名、臨時職員 1 名、派遣職員 4 名）
 看護職：女性 1 名（副看護局長兼務）

《業務》

地域医療連携室は、地域の保健・医療・福祉機関などと連携をはかり、地域ぐるみの医療サービスシステムを効率よく円滑に運用していくことを目指している。

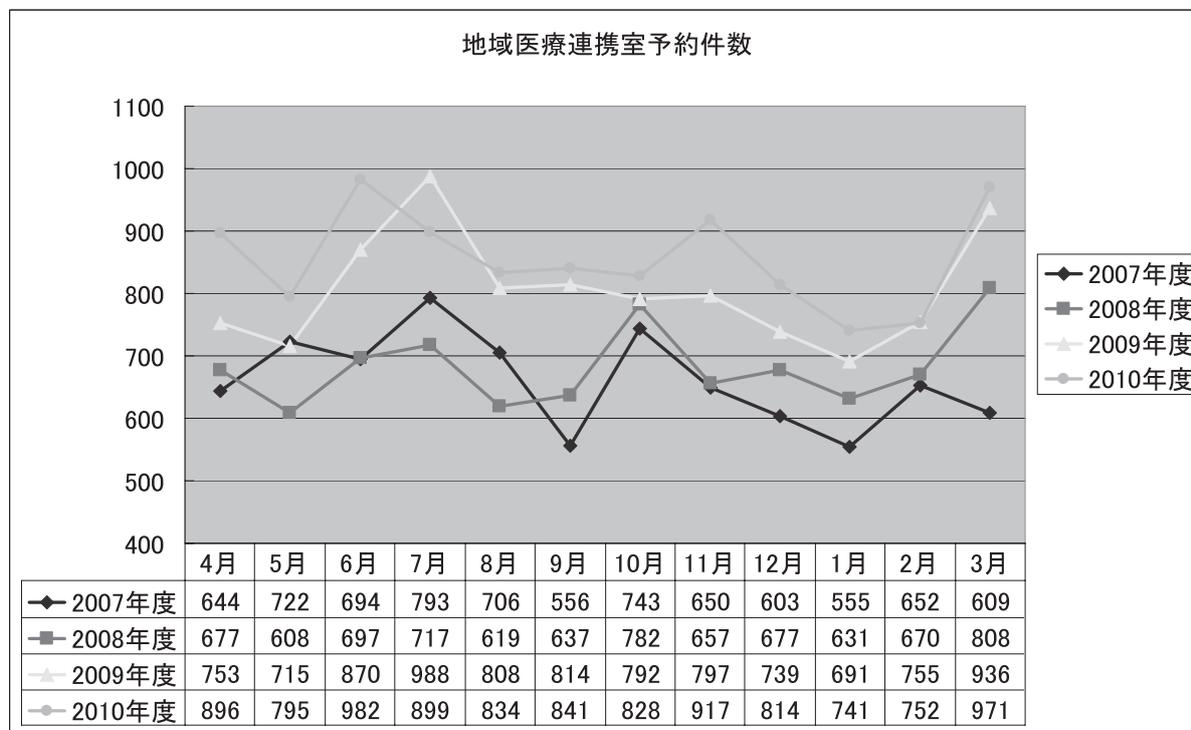
地域医療連携室は地域の中核病院として、かかりつけ医である開業医の先生方、地域の病院の先生方、福祉関連事業所の担当者さまと連携を図り、紹介・逆紹介を活発にし、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口としての業務をおこなっている。

《実績》

① 地域医療予約件数（2010 年 4 月～2011 年 3 月）

（詳細：別表「診療科別データ」参照）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	896	795	982	899	834	841	828	917	814	741	752	971	10,270



※地域予約件数(月別)を年度比較した数値をグラフ化したデータ(2007 年度～2010 年度)年度推移からも地域医療連携室を経由した紹介依頼件数は増加傾向にある。

診療科別データ

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	18	16	21	15	20	17	16	16	12	20	25	19	215
血液内科	8	9	15	10	10	15	7	6	12	5	2	8	107
腎臓内科	19	16	25	27	26	15	10	17	21	16	19	16	227
消化器科内科	34	38	48	58	49	61	62	70	66	62	32	38	618
循環器科内科	113	86	108	114	74	81	101	113	88	89	100	129	1,196
呼吸器科内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺腫瘍内科	5	9	8	11	2	9	18	13	9	6	9	10	109
神経内科	15	16	17	12	16	11	13	9	12	10	10	17	158
小児科	12	26	24	18	12	16	12	12	17	14	16	12	191
外科	62	35	60	72	68	55	55	57	63	40	49	62	678
呼吸器外科	9	6	12	10	9	15	7	11	11	9	6	2	107
心臓血管外科	11	10	13	11	8	20	5	10	14	12	12	20	146
脳神経外科	46	48	35	38	37	42	31	45	29	32	27	44	454
整形外科	50	39	58	45	53	47	37	42	40	34	34	49	528
形成外科	20	19	18	18	26	15	15	14	14	22	17	20	218
眼科	17	13	15	24	16	14	16	31	17	8	13	21	205
耳鼻咽喉科	49	41	75	55	34	40	41	36	39	35	29	48	522
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	35	35	48	39	45	35	30	37	31	37	38	46	456
産婦人科	43	34	41	42	39	41	44	50	47	43	39	48	511
放射線科	238	239	268	216	211	224	227	233	199	185	209	273	2,722
麻酔科	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	2	8
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	92	60	71	64	79	68	79	95	73	61	65	87	894
小計	896	795	982	899	834	841	828	917	814	741	752	971	10,270

② 紹介率・逆紹介率（2010年4月～2011年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率	49.4%	47.4%	44.3%	47.5%	42.3%	45.5%	45.1%	46.0%	47.9%	47.3%	47.6%	47.9%	46.4%
逆紹介率	62.1%	61.3%	60.8%	65.3%	55.6%	55.9%	57.5%	67.5%	76.3%	64.3%	70.6%	73.0%	64.0%

※地域医療支援病院用の算出基準にて率を算出

2010年度は紹介率が46.4%、逆紹介率が64.0%であった。

③ 地域連携クリティカルパス導入件数（2010年4月～2011年3月）

地域医療連携室では、病診・病病連携の推進の一環として、地域連携クリティカルパスの導入に積極的に関わっている。

脳卒中地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳卒中	1	2	5	7	7	6	4	4	9	8	8	7	68

がん地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳がん	16	6	13	18	4	3	4		8	6	4	7	89
肝がん	1	1		2					1		3		8
胃がん									4	2	2	3	11
大腸がん									2	6	10	7	25
合計	17	7	13	20	4	3	4	0	15	14	19	17	133

急性心筋梗塞地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
急性心筋梗塞	2	1	1				1		1				6

糖尿病地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病											2		2

大腿骨頸部骨折地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大腿骨頸部骨折												1	1

④ 医療従事者対象の勉強会・研修会（事務局）

地域医療連携室では、医師会をはじめとした地域の医療従事者向けの勉強会・研修会の事務局の役割を担っている。

< くりんくうカンファレンス >

隔月（奇数月）の第3木曜日に開催している。（主催は泉佐野泉南医師会）

2010年度は前年度3月開催分を4月に繰り越し開催し、計7回開催された。

	開催日	主 内容		医師名	参加人数
第158回	4月15日	症例検討	右大量胸水を認めたC型慢性肝炎合併慢性腎臓病(CKDstage5)患者の一例	腎臓内科 安田 圭子	11名
		ミニクチャー	慢性腎臓病とレニン-アンジオテンジノール系阻害薬について	腎臓内科部長 林 晃正	
第159回	5月20日	症例検討	抗うつ薬内服にてQT延長し、Torsades de Pointesを誘発した一例	循環器内科 木下 晴之	17名
		ミニクチャー	心臓CTを臨床に活かす	副院長兼心臓センター長 永井 義幸	
第160回	7月15日	症例検討	下痢を主訴として受診した70歳女性	臨床研修部 森本 正昭	20名
		ミニクチャー	下痢のはなし～たかが下痢、されど下痢～	消化器内科部長 長島 雅子	
第161回	9月16日	症例検討	人間ドックで腹部腫瘍を指摘された42歳女性	外科 小北 晃弘	16名
		ミニクチャー	単孔式腹腔鏡手術の実際	消化器センター長兼外科部長 水野 均	
第162回	11月18日	症例検討	意識消失発作、血小板減少、貧血で発症した66歳女性	臨床研修部 畑野 光太郎	16名
		ミニクチャー	悪寒、発熱を主訴として、救急外来受診、急激な経過をたどり死亡した56歳男性	副院長兼感染症センター長 玉置 俊治 検査科部長 今北 正美	
第163回	1月20日	症例検討	意識障害・左片麻痺を急性発症し脳梗塞を疑われた高齢2型糖尿病の一例	診療局長兼内科部長 大野 昭	14名
		ミニクチャー	失敗から体得した最近の糖尿病治療薬への対応	診療局長兼内科部長 大野 昭	
第164回	3月24日	症例検討	健診で急速な腎機能低下を指摘され紹介を受けた一例	腎臓内科 佐々木 公一	13名
		ミニクチャー	CKDにおける骨ミネラル代謝異常(CKD-MBD)	腎臓内科部長 林 晃正	

<臨床集談会>

毎月の第4木曜日に開催している。地域の医療従事者および当院の研修医向けの内容。

	開催日	演 題	医師名	参加人数
第124回	4月22日	1. 特発性血小板減少性紫斑病（ITP）の診断と治療 —最近の話題—	血液内科 玉置 俊治	13名
		2. 持続血糖モニター（CGM）を用いた糖尿病治療	内科 大野 昭	
第125回	5月27日	1. 頭頸部癌放射線化学療法	耳鼻咽喉科 裕田 猛真	12名
		2. 増えている心臓手術～ガイドライン、エビデンスに基づいた治療法の選択と最新の外科手術	心臓血管外科 松江 一	
第126回	6月24日	1. 泌尿器科疾患の画像診断について	泌尿器科 萩野 恵三	11名
		2. 転移性脊椎腫瘍について	整形外科 橋本 英雄	
第127回	7月22日	1. 周産期救急への新たな取り組み	産婦人科 荻田 和秀 産婦人科 三宅 達也	16名
		2. 脳神経外科の最近の話題	脳神経外科 森内 秀祐	
第128回	8月26日	1. 産科集約化前後のNICU入院児の推移	小児科 住田 裕	11名
		2. 口腔粘膜疾患	歯科口腔外科 大前 政利	
第129回	10月28日	1. 自己免疫膵炎に腎障害を合併した症例	腎臓内科 林 晃正 腎臓内科 安田 圭子	14名
		2. 甲状腺疾患診療のポイント	内科（矢頃クリニック） 矢頃 綾	
第130回	11月25日	1. 循環器救急～胸痛～	循環器内科 蒔田 直記 循環器内科 永井 義幸	11名
		2. 陰圧閉鎖療法による創傷治療	形成外科 那須 賢花 形成外科 中川 達裕	
第131回	1月27日	1. 当院における画像診断	放射線科 合田 晴一 放射線科 櫻井 康介	11名
		2. 糖尿病網膜症	眼科 田尻 健介	
第132回	2月24日	1. 消化器内視鏡の歴史とこれから	消化器内科 長島 雅子	11名
		2. 外科のインターベンション	外科 山村 憲幸 外科 位藤 俊一	
第133回	3月24日	1. アメリカ心臓協会：心肺蘇生と救急血管治療の 為のガイドライン2010ハイライト	麻酔科 仲谷 憲	14名
		2. 救命救急における急性腹症の診断と治療	泉州救命救急センター 渡部 広明 松岡 哲也	

<難病医療連絡会講演会>

2011年2月10日には、泉佐野保健所と当院主催（共催：泉佐野泉南医師会）にて、難病医療連絡会講演会を開催した。（於：当院3階大会議室）合計42名の方にご参加いただいた。

演題	講師
神経難病患者のネットワークによる支援体制の現状と課題	大阪難病医療情報センター 狭間 敬憲 （大阪府立急性期総合医療センター神経内科主任部長）

⑤ 市民健康講座の開催

<市民健康講座>

8月・12月を除く毎月第3土曜日に、当院3階大会議室において市民健康講座を開催している。(2010年度は1月を休講とした。)

全9回の開催で計560名の方にご参加いただいた。

開催日	テーマ	講師	参加人数
4月17日	がんとお付き合いするには	がん相談支援センター長 南 孝美	69名
5月15日	白内障のお話	眼科副医長 田尻 健介	61名
6月19日	がん化学療法と上手くつきあうために	急性期ケア推進室 (がん化学療法看護認定看護師) 副看護師長 森 沙苗	56名
7月17日	放置してはいけない皮膚のデキモノのお話	形成外科部長 中川 達裕	46名
8月	休み		
9月18日	乳腺診療における新たな診断と治療	がん治療センター長 兼 外科部長 位藤 俊一	56名
10月16日	脳卒中に対する最新の治療	脳血管外科部長 寺本 佳史	50名
11月20日	糖尿病と足病変 ～あなたの足を守るために～	糖尿病認定看護師 西村 直美	60名
12月	休み		
1月15日	休み		
2月19日	腎臓を守る～透析に至らないようにするには～	腎臓内科部長 林 晃正	132名
3月19日	尿失禁ケアについて	皮膚・排泄ケア認定看護師 高橋 敏枝	30名

<南泉州公開健康講座>

2010年1月15日には、泉佐野泉南医師会の主催にて、医療法人野上病院と合同にて南泉州公開健康講座を開催した。(於:あいびあ泉南)合計94名の方にご参加いただいた。

演題	講師
1. 平成の養生生活～循環器病予防のための食生活と運動	医療法人野上病院 循環器科部長 葭川 明義
2. あなたが主役!～泉州地域での糖尿病の取り組み	市立泉佐野病院 診療局長兼内科部長 大野 昭
3. 心臓病と言われたら	市立泉佐野病院 心臓血管外科部長 松江 一

⑥ 学会発表

演題	発表者	学会・研究会名	年月日
泉州二次医療圏におけるがん地域連携パスのコーディネーター ～がん診療連携拠点病院事務局の取り組み～	大家 愛佐子 (市立岸和田市民病院 地域医療連携室) 松田 有裕 (社会医療法人生長会府中病院 医療情報課) 中西 賢 (りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 地域医療連携室)	第11回日本クリニカルパス学会学術集会	2010.12.4

2. 医療相談室（地域医療連携室）

《体制》

医療ソーシャルワーカー（MSW）4名（社会福祉士4名）：男性1名、女性3名

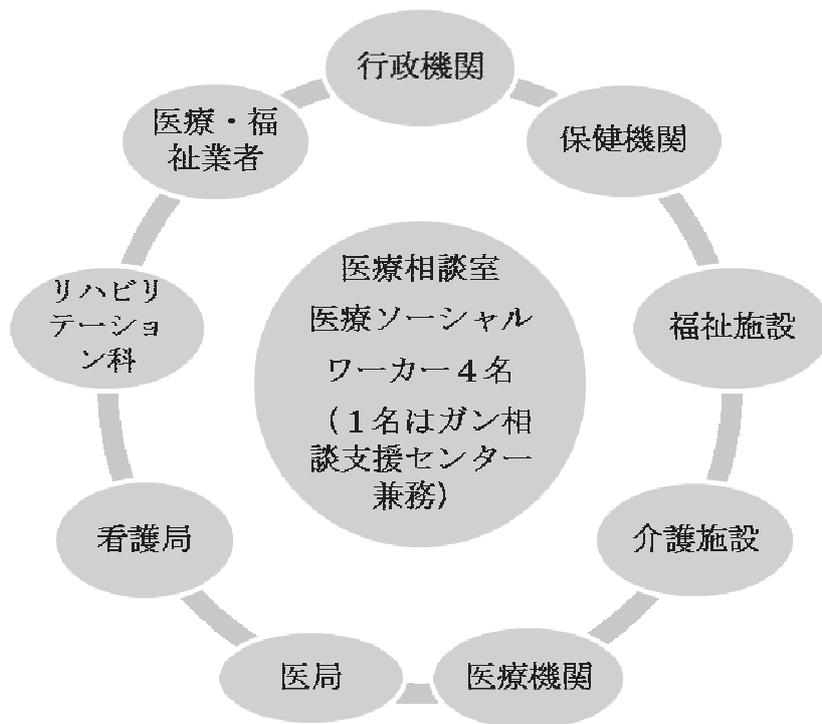
（常勤1名、非常勤3名／1名はがん相談支援センター兼務）

今年度から、MSW1名ががん相談支援センターの業務を兼務することとなり、業務範囲が広がった。また、新入職者を迎え、新たな顔ぶれで相談業務に取り組んだ1年であった。

《業務》

医療相談室は患者とその家族の生活や傷病の状況から生じる経済的・社会的・心理的不安や問題等の解決に必要な社会資源の情報提供や活用の助言・指導等を行い、院内の関係職種・地域の関係機関との連携を密にし、患者が安心して療養できるよう支援することを目的とした業務を行っている。

医療費の助成制度、生活費に関すること、転院やかかりつけ医紹介、在宅医療・介護、社会保障制度、家族関係の問題など多岐にわたる相談に応じている。



《基本方針》

- 中立的な立場から、患者・家族等と関係職種、医療機関との信頼関係の構築を支援する。
- 必要に応じて関係職種、関係機関との連携を図り、相互に情報・意見交換を行い、相談援助体制を構築する。
- 患者の自律性、主体性を尊重し、患者の積極的な関わりのもと問題整理を援助し、解決方策の選択肢を提示する。
- 社会的に求められる守秘義務を遵守する。
- 最良の実践をおこなうために研修などに参加し、専門性の向上に努める。

《実績》

大阪府がん診療拠点病院として、がん相談支援センターの相談業務対応を行なうようになった。また、平成22年度の診療報酬の改定により、急性期病棟等退院調整加算や新生児特定集中治療室退院調整加算、退院時共同指導料の算定要件に社会福祉士が明記され、当院でも急性期病棟等退院調整加算の算定にむけた取り組みとして医局・看護局との連携により、6月から退院支援計画書の運用を開始し実績をあげている。また、退院時共同指導料についても関係機関との連携を図り算定を行っている。

相談件数においては年々増加傾向にあり、相談内容、患者や家族のニーズは多様化してきており、より、専門的な援助が求められるようになってきている。援助内容の中で最も多かったことが転院調整であったが、経済的・社会的問題の相談も年々増加している。

今年度の実績では延べ相談援助件数は新規・継続合わせて6,614件であり、一日あたり約28件の相談に応じている。相談援助内容のうち転院調整が最も多く、全体の45%であった。

また、周産期の未受診や飛び込み出産などにおける大阪府産科医会の未受診実態調査にも協力をした。実際に当院でも未受診・飛び込み出産は多数発生しており、その背景に経済的・社会的問題などがあるため関係機関と連携を図るなど必要な援助をおこなった。

【相談業務実績】

	区分		援助方法			援助対象					援助内容						
	新規	継続	面談	電話	文書(メール・FAX)	本人	家族	関係者(知人・後見人)	院内スタッフ	院外	転院調整	在宅調整	受診・受療	心理的問題	経済的問題	制度紹介	院内調整
4月	150	376	238	446	122	147	181	10	386	311	252	56	67	44	68	22	107
5月	137	430	228	491	130	167	190	7	414	346	294	30	57	56	70	23	199
6月	125	417	213	476	118	175	198	11	404	334	264	55	49	50	71	6	166
7月	115	370	177	428	122	139	188	28	369	295	296	32	28	29	47	9	119
8月	115	358	188	390	93	108	153	7	359	265	268	24	22	27	42	29	148
9月	129	398	219	456	112	140	173	7	411	314	236	27	41	81	69	15	203
10月	127	405	201	456	134	143	192	7	390	326	309	50	30	21	27	13	170
11月	145	502	250	589	131	139	237	3	513	392	404	35	21	50	60	18	257
12月	122	414	200	483	125	137	213	5	398	363	301	37	27	35	41	26	197
1月	133	337	182	412	120	97	181	1	364	327	256	40	19	16	22	12	231
2月	138	401	204	481	96	110	202	6	414	341	289	49	14	29	35	32	226
3月	187	585	270	703	177	151	281	11	576	505	480	41	36	67	48	40	240
計	1,620	4,994	2,565	5,805	1,477	1,652	2,392	103	4,996	4,118	3,644	476	408	505	599	246	2,264

【転院調整実績】(外来から他院、入院から他院への転院)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来から他院	8	5	12	11	10	10	8	7	7	12	16	8	114
入院から他院	34	35	38	51	34	34	38	54	49	41	32	51	491

【急性期病棟等退院調整加算1算定状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援計画書 作成件数		1	8	17	13	13	13	13	4	7	8	19	116
算定件数			3	13	11	9	14	14	5	6	5	14	94

【相談援助内容内訳】

